

<b>Course number</b>		U-LAS40 20001 LJ26					
<b>Course title (and course title in English)</b>		精神病理学Ⅰ Psychopathology I		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor, MATSUMOTO TAKUYA	
<b>Group</b>		Health and Sports		<b>Field(Classification)</b>		Health and Sports Sciences(Development)	
<b>Language of instruction</b>		Japanese		<b>Old group</b>		Group A	
				<b>Number of credits</b>		2	
<b>Number of weekly time blocks</b>		1		<b>Class style</b>		Lecture (Face-to-face course)	
				<b>Year/semesters</b>		2025・First semester	
<b>Days and periods</b>		Tue.4		<b>Target year</b>		All students	
				<b>Eligible students</b>		For all majors	
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>代表的な精神障害の実際の症例をとりあげ、そこにみられる精神病理を、(1)記述心理学にもとづく記述的精神医学、(2)フッサールやハイデガーなどの哲学を応用した現象学(人間学)、(3)無意識を想定する力動精神医学(精神分析)等の見方から多角的に理解し、心理的支援に役立てることのできる力を身につける。</p> <p>また、精神医学の臨床の実相を知って、精神障害を単なる脳の異常としてではなく、人間をとりまく環境や言語の視点から把握する思考法を学ぶ。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
精神障害にみられる症状の捉え方を理解し、統合失調症、うつ病、双極性障害(躁うつ病)、器質性精神障害、神経症、自閉症といった代表的な精神障害の成因、診断法、治療法、経過、心理的支援、薬物による心身の変化、および多職種連携(医療機関との連携など)について理解する。							
<b>[Course schedule and contents]</b>							
基本的に以下のプランに従って講義を進める。ただし講義の進みぐあい、時事問題への言及などに対応して順序や同一テーマの回数を変えることがある。							
第1回 精神病理学概説(その歴史と精神症候学) 第2回 統合失調症(1) 第3回 統合失調症(2) 第4回 統合失調症(3) 第5回 統合失調症(4) 第6回 統合失調症(5) 第7回 統合失調症(6) 第8回 うつ病 第9回 双極性障害(躁うつ病) 第10回 器質性精神障害 第11回 心因性精神障害(1) 第12回 心因性精神障害(2) 第13回 自閉症スペクトラム(1) 第14回 自閉症スペクトラム(2)およびその他の精神障害 第15回 フィードバック(方法は別途連絡します。) 							
-----							
Continue to 精神病理学Ⅰ(2)							

## 精神病理学Ⅰ(2)

### [Course requirements]

None

### [Evaluation methods and policy]

期末試験（100％）による。  
ただし、登録人数や授業形態等に応じて、成績評価の方法を変更することがある。講義時間中ならびに掲示による通知に注意してください。

### [Textbooks]

松本卓也 『症例でわかる精神病理学』（誠信書房, 2018）ISBN:9784414416442

### [References, etc.]

（References, etc.）

松本卓也 『心の病気ってなんだろう？』（平凡社, 2019）ISBN:978-4582838091

濱田秀伯 『精神医学エッセンス 第2版補正版』（弘文堂, 2020）ISBN:978-4335651519

### [Study outside of class (preparation and review)]

予習として、教科書・参考書の読書。復習として、授業中に配布したプリントと自分自身のノートの内容を照らしあわせて理解を深めること。

なお、授業外学修には、いわゆる「予習・復習」だけでなく、授業のなかで学んだことを各自の自習や日常や課外活動のなかで応用・実践し、生きた知識にすることも含まれる。

### [Other information (office hours, etc.)]

後期の「精神病理学」と合わせ、精神病理学のおおよその全体像を把握していただけるように、前期と後期を通して、講義内容を構成しています。原則として前期と後期を通して学ぶことを奨めます。

### [Courses delivered by instructors with practical work experience]

(1) Category

A course with practical content delivered by instructors with practical work experience

(2) Details of instructors' practical work experience related to the course

精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験

(3) Details of practical classes delivered based on instructors' practical work experience

精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験にもとづいて、精神病理学の知識を教授する。